

寺井校下女性会との市長と能ん美りカフェトーク

日 時 令和5年11月9日（木）19:00～20:30

会 場 寺井地区公民館 301会議室

参加人数 30人

1. 開 会

2. 能美市女性協議会長ご挨拶

3. 市長市政報告

【市長】

○はじめに

いつも申し上げているとおりに能美市の施策全てが移住・定住の促進につながっていくようにしています。今年度は、5つの方針・目的を新たに設けて今取り組んでいます。

令和5年度の当初予算は268億2,000万円で過去最高額です。財政状況はおかげさまで税収が好調であり、令和元年度に90億円を初めて超えました。昨年度、過去最高額をまた更新し90億9,000万円の市税収入がございました。何が要因かといいますと、企業誘致が好調で固定資産税が入ってくる、それから地元の企業さんも好調で法人税も入ってきているということが一番寄与していて、本当にありがたいと思っています。

移住・定住の促進につなげるとやっておりますけれども、近年、特にコロナの影響もあったのか自然動態が大幅に減少してきています。人口というのは、前からも申し上げているとおりに2つの要素があって自然増と社会増です。引っ越して行く人よりも引っ越してくる人が多いと社会増。お亡くなりになる人よりも生まれてくる赤ちゃんの人数が多いと自然増なんです。残念ながら今、大幅な自然減になっています。特にコロナの影響もあって生まれてくる赤ちゃんの人数がこのところ大幅に減ってきています。社会増ではあるんですが、自然減を社会増がカバーできない状態で今ちょっと人口が減り始めてきていて、後から触れますけれども、自然動態をどうしていくかが、今、能美市だけではなくて全国的に大きな課題になってきています。

昨年、大変すごい雨が降りました。1時間当たり86ミリという過去経験したことのない大雨に見舞われ、いろんな被害が出ています。どちらかというと、里山地区に雨が降って冠水や浸水したんじゃないかというイメージが多いかもしれませんが、実はこの西川、熊田川という川も溢水をして根上地区でも大きな被害が出ました。結果的に、床上・床下浸水が約180件、水が入った農地が20ヘクタール、土砂が入った農地が12ヘクタール、またイノシシの柵が2kmにわたって壊され、川をせき止め水位を上げて田んぼとかに水を入れる施設を頭首工というんですけど、その頭首工が15施設壊れました。

○令和5年度の取り組みについて

今年度の予算編成方針と目的というのが、災害対策をしっかりとやっていく。それから、能美市の強みの一つに市民力・地域力があるんですけども、まさに皆さんも市民力・地域力の代表的な団体だと思っています。ところが、新型コロナウイルス感染症の影響で集まる機会が少なくなってきたこともあり、市民力・地域力が大分落ちてきたんじゃないかと思っています。市内に74の町会・町内会がありますけれども、婦人会が解散したというところが幾つか出てきていたり、人数が大幅に減ってきているという状況であります。

能美市はいろんなことやっているんですけど、やはり知名度とか認知度というのはなかなか高まっていかない。能美市のホームページもいろいろ更新をして、いろんなコンテンツをそこにに入れるんですけども、アクセスしてもらわないとやっぱり見てもらえない。この知名度・認知度をどうやって上げていくかが課題です。

それから、先ほど申し上げた自然動態の増進とGX、これはいわゆるカーボンニュートラルで、昨年のもやはり地球温暖化に伴って集中的に降るような状況になっていまして、このGXをどうやって進めていくかということです。

災害・事故への対策ということで、西川、熊田川、鍋谷川の復興・復旧、治水工事を積極的にやっています。川幅を倍にするだとか、堆積土砂を取る、それから西川、熊田川は手取川の海岸沿いに注いでいるんですけども、手取川の水が増えてくると西川、熊田川にバックウォーターといって戻ってくる。それを防ぐために樋門を造ろうと取組が始まっています。

今日の提言にもありましたけれども避難時の見直しもやっています。昨年のも大雨のときに根上総合文化会館が指定避難所になっていたんですけど、その周りに水がついて避難所にたどり着けなかったというお声がありまして、今避難所の在り方も大幅に見直してい

ます。

我々行政だけでは、皆さんに安全・安心にどこかの場所にいていただくことが難しいということから、企業さんにも避難所として施設を供給していただいたり、重機、例えばショベルカーですとかクレーンを貸していただく協定もしています。

交通事故に関しては、ゾーン30プラスとってエリア内を30キロ以上スピードが出せないようにしようという取組をしています。これまで福岡小学校エリアと宮竹小学校エリアを指定しました。その2つは、抜け道として狭い道を車が猛スピードで走ることから指定をして、いろんな対策をして規制をしています。

資機材も充実をさせ、ガイドブックも昨年の大雨を受けてもう一回見直しをしようとしています。昨年の大雨は朝で、その日は夏休みでした。子どもたちは親御さんと一緒にいたので避難できたかもしれませんが、親御さんも仕事に行って家にいないというケースもあつたりする。そこで、それぞれお一人お一人が、こんな時間に、こんな被害に遭った場合にどうやって避難をしよう、誰の助けをもらって避難しよう、どこへ避難しようということを個別にしっかり計画を立てていくという取組を今始めています。例えば独り暮らしの高齢者の場合、誰かの助けがないと逃げられません。誰かの助けって一体誰という話で、隣のおじさんになっていたとして、平日の昼間だったら仕事に行って家にいないかもしれない。いろんなケースやいろんな災害を想定して、どうやって避難するかをつくっていくのを個別避難計画と言っていて、これを今、市内で順次一人一人つくっていくと始めています。

防災フェスタというのは、能美市はこういった取組をしていますとか、こんな資機材がありますとか、ぜひこういった個別避難計画をつくってくださいと皆さんにお知らせをしたり、つくることを手助けする、そんな取組を紹介する場にもしております。

いざ大雨が降る、避難指示が発令された場合に、これまでは防災行政無線やホームページあるいはテレビ等でお知らせをしていたんですが、例えば金沢に行ったら全然そういった情報が取れない。防災行政無線では、音声でたくさんメッセージを伝えても全部聞き取れない等々があつて、能美市公式LINEを始めました。これも皆さんから要望があつて始めた施策の一つでありまして、まだお友達になっていない方がいらっしゃいましたら、すぐになっていただければと思います。防災情報だけじゃなくて、能美市のいろんなイベントの情報だとか施設の情報とかも入れられるようになっていきます。

災害対策ということで、老朽化対策にもいろいろ取り組んでいまして、公共施設等々も

直したり、11ある小学校、中学校は築50年選手が全体の35%を占めていて、順次直していかなくてはなりません。保育園は全部で15あって、順次民営化もしながら新しくしていています。

案内看板も古いものがあったり、いまだに「寺井駅」と書いてあったりするんですけど、昔と違って皆さん目的地に行くのに地図と案内看板見ていく人ってもう少ないですよ。車のナビだったり携帯電話で登録して行きますね。だから、看板の在り方も大幅に変わってきていて、そんなことも見ながら市内の看板のリニューアルも進めています。

市民力・地域力の強化ということで、祭礼だとかイベントを一生懸命やっていく必要もあると思います。今、市史を編さんしていて、今年は加賀立国・能美誕生1200年という記念の年でもあります。1200年前の823年というのは平安時代です。この当時にどんな暮らしをしていたのか、どんなことが起こっていたのかも調べて後世に伝えていき、市民力・地域力の強化につなげていきたいと思っています。

今年はいしかわ百万石文化祭ということで市内で11のイベントをやっています。11月26日までいろんなイベントやっていますので、ぜひお時間を見つけていろんなところにお出かけをしていただければと思います。

認知度・知名度の向上で、先ほど申し上げたようにホームページ等々のコンテンツを大分充実をさせていったんですけれども、やはりアクセスしてもらうには能美という地名をいかに全国に知らせていくか、県内外、外国に知らせていくかが大事で、ビッグネームの力を借りるのが得策だろうということから、お一人は松井秀喜さん。松井さんのビデオを作ったり、パネルを小松空港に置いたりしています。それから、サンリオのナンバーワン人気キャラクターシナモロールの力を借りたりしています。

ギネスに挑戦ということで、折り紙を折ってシナモロールや新幹線の絵のモザイクアートを飾る取り組みを行っています。15,000枚がこれまでの最高記録で、それを抜こうと20,243枚に挑戦しています。これは単純な数字で、新幹線が開業するのが2024年3月なので20,243枚にしてあります。今折り紙7万枚が市内に配られているんです。ぜひ折っていただいて、来年の3月30日にギネスの審査員が来て審査されて、ギネス記録達成を目指していますので協力をしていただければと思います。自分が折ったものがギネスの記録につながるので、こういう風に参加できる機会はあまりないかなと思います。

松井さんのビデオは、たった15秒のCMですが、実際に声をアフレコで入れられています。松井秀喜さんがアフレコをしたのが人生で初めてということから、全国ニュースでも

何回も取り上げてもらい、能美市のことをとても宣伝することができました。10月末まで、イオン白山で映画が始まる前にも流させてもらっています。こうやって能美市の地名をどうやって広げていくかが大切であって、ぜひ皆さんも口癖で「のみのみ」と言ってもらいとありがたいなと思います。

認知度・知名度の向上ということで、能美市に来ていただいたいろんな皆さんに能美市を楽しんでいただこう。市民の皆さんにも能美市がいいところだと感じてもらおうと、いろんな施設の整備もしています。今人気なのが、九谷陶芸村のビッグモニュメント。あの中に入ると光を使ったいろんなディスプレイを楽しめまして、「世界で唯一人が中に入れる九谷焼」というキャッチコピーで売り出しています。11月末まで土曜日と日曜日入れます。無料ですからぜひ行ってみていただければと思います。

皆さんご関心があるのは小中学校の給食費の無償化かと思います。2学期から中学生を対象に始めました。3学期からは小学生も対象にさせていただきます。ちなみに1年間、小中学校全員の給食費を無償にすると約2億5,000万円必要です。令和6年度も継続していきたいと思うんですけど、財源をどう捻出しようか今頭を悩ませています。

健康寿命の延伸です。やっぱり健康に、病院に行かずに長生きをしていただくことが大切です。健康診断行ってくださいと一生懸命やっています。健診センターを能美市立病院の中に設けようということもやっています。

最近はお一人でもいろんな悩みを複合的に抱えていらっしゃる人がだんだん多くなってきた。一つの家庭でも、いろんな悩みが多くなってきていることもあって、ワンストップで相談に乗って対応できるようやっけていこうとしています。

北陸鉄道能美線が走っていた場所、健康ロードの整備も始めていまして、通学路になっていたり、ジョギングしたりする人が大変多い道。ところが、桜の根が隆起していたり、街灯がないところがあり、今整備しています。全部で16kmあるものですから、時間とお金がかかることから2025年秋の完成を目指しています。2025年というのは、能美電が開通して100年、廃線して45年、能美市政が誕生して20周年という記念すべき年です。

ゼロカーボンシティということで、世界的な目標で2013年のCO₂の排出量に対して2030年には半分、2050年にはゼロにしようとなっています。能美市でもいろんなことをやっけていて、木を削ったりしたときに出る端材をペレットにして、それを燃やして熱源を取ったり電気を起こしたりしようという取組を今やろうとしています。太陽光発電も市内にいろいろ設置をして、クリーンなエネルギーを使おうということなんですけど、皆さんご

存じだと思えますけど電気ってためておけない。発電したものをすぐに使い切らないと駄目なので、例えば太陽光発電のパネルを造っても、夏だったり昼間だったら発電してくれるんですけど、雪が降ったり夜だったら発電してくれない。そうすると、発電できるときとできない時の差が激し過ぎることから、電池を置いておいて、夏や昼間につくった電気を溜めておいて夜使おうという取組ができないか検討も始めています。

公共交通を使うのもカーボンニュートラルに大きく寄与することになりまして、のみバスのルート、ダイヤ、停留所の見直しをしています。タウンミーティング等に行くと「のみバス、停留所を何とかしてほしい、ダイヤを何とかしてほしい」とおっしゃる方が多いです。「この半年間にのみバス乗ったことある人、手挙げてください」とお聞きすると、1人か2人しか手を挙げない。恐らく不便だからだろうなと思いつつながら、ぜひこの公共交通、のみバスに乗っていただければと思います。1回100円です。連携に乗って循環に乗り換えても100円です。ぜひのみバスをご利用いただければと思います。

のみバスは、のみバスGO!というアプリがありまして、それを登録していただくと、ダイヤ、ルート、停留所、即座に分かります。自分が今乗りたいなというバスが、あと何分後に来るか、混雑状況も分かります。

○スマートインクルーシブシティについて

能美市が取り組んでいるデジタル化です。能美スマートインクルーシブシティといいまして、インクルーシブというのは誰一人取り残さない、仲間外れにしない、いわゆる地域共生社会です。健康な人も、障がいをお持ちの方も、高齢者も、お子さんも、外国人も、能美市に住む全ての人たちが安心・安全・快適に暮らしてもらおうというのがインクルーシブシティで、それをスマート、デジタルの力を使ってやりましょうということです。

高齢者や障がいをお持ちの方、子育て世帯、お子さん、いろんな場面でこのデジタル技術を今取り入れようとしていて、今日は自宅と公民館のことを紹介させていただければと思います。

医療介護情報連携システムです。病院に入院をされていて、退院して自宅で療養をする場合、かかりつけ医さんやケアマネさんが、この人が病院でどんな治療を受けたか、どんな病気だったか、どんな薬を飲んでいるかは、カルテが違うので分からないんです。それで、情報をクラウドに入れて、必要ときに必要な情報を取り出せるようにしようということをやろうとしています。

高齢者の一人暮らしの方がご自宅で具合が悪くなった。本人は具合が悪いので救急車を呼べない、誰かに言って救急車を呼んでもらったとします。救急隊は病院へ運ぶのに、どんな病気になったのか、どんな薬飲んだかを把握して病院に搬送しないといけないんですけど、本人が具合悪いから伝えられないということで、こういった情報をクラウドに入れて取り出せるようにしようということです。

市内には、今3つの病院、約20のクリニックがあるんですけど、全て同じ電子カルテにしようとしています。どんなことがプラスになるかという、例えばAという病院に行く。そうすると、初診の場合はレントゲンを撮ったり、採決したり、MRIを撮ったりする場合があります。1週間後に結果が出るのもう一回来てくださいと言われ、大体1週間後に初診が始まります。けれども、電子カルテが全部同じだった場合は、Aという病院に最初にかかっている、Bという病院に移った場合に、Bという病院ではカルテが一緒なのでAという病院で受けたいろんな検査が見られるわけです。そうすると、初診が早い、検査代が助かるというメリットがあったりするので、こういったことを市内全域でやり始めようとしています。

認知症の方がいらっしゃったとする。いなくなられた場合に、この人の情報を既に入れてあって、スマートフォンですぐ見つけられるようにしましょう。市内の町会長・町内会長さん、民生委員・児童委員さん、全員に今能美市からタブレットをお貸しして情報が見られるようになってきています。皆さんも参加されたいという場合は申し出ていただければ登録させていただいて、近所の方がいなくなられた場合に情報が見られるようになりますので、ぜひご協力していただければと思います。

I o T家電の活用です。最近の家電は喋るんです。既に皆さんの家にあるかもしれません。空気清浄機が「ご飯食べたか」「おやすみ」等語りかけてくれるんです。エアコンもスマートフォン等に色々な情報が出るようになる。部屋の中の空気を分析して、「最近寝るのが遅いようですが大丈夫ですか」「体調に異変はありませんか」と知らせてくれる。さらに進んで、「能美市に大雨・洪水警報が発表されました」「避難指示が発令されました」ということを知らせるようにしていきます。防災行政無線は、恐らく皆さん、キッチンや居間に置いてあると思います。寝ていたらそんな情報が出たか分からないので、こういった情報が流れるようにしていきます。空気清浄機にしばらくスイッチを入れなかったら「安否が確認できません」というのを登録していた人、例えば東京に住んでいるご家族等に知らせるようにもするという事です。空気清浄機から流れる声は好きな声を選べ

るそうです。例えばアニメの声、皆さんのご家族の声です。見守りをするだけじゃなくて、元気になってもらうような取組もしていこうと考えています。

まずは独り暮らし高齢者100人を選んでやっていきたいと思いますけど、最終的にはこういったIoT家電を全世代で使ってもらえるようにしていこうと考えています。今いろんな家電がありまして、我々からすると安心・安全・快適、やはり健康です。というようなことをキーワードにいろんなことをやりたいなという思いをしています。

デジタル公民館ということで、能美市にはいろんな公民館があります。公民館にWi-Fi機能をほとんどつけ終えまして、例えばスマホ教室やeスポーツをやることによって、お子さんから高齢者まで集って多世代間の交流をしましょう。病院に行かずにオンライン診療できるようにしましょうなど、いろんなことを今やろうとしています。それぞれの公民館によってその特徴を出しながら、必要な機能を備えていきたいと思います。

4. 事前提言質問

提言1

【参加者】 能美市通学路交通安全プログラムの拡充についてです。毎年、能美市への要望を会員に募ると必ずと言っていいほど出てくるのが通学路の安全確保に対する要望です。今年出された事案の中から2件紹介します。

1件目は、粟生方面から寺井中学校への通学路です。吉光町交差点から寺井緑町交差点の区間で、セレモニーホール側の水路の川幅が1メートル以上あり、深さも90センチほどありますが、ガードレールなどもなく大変危険です。また、反対側、寺井高校側の歩道は幅が狭い上にポールやミラーがあり草が生い茂っている状態で、歩道として機能していません。

2件目は、小杉町から大長野方面への通学路です。用水路側にガードレールが設置されているのですが、歩道幅が大変狭く危険です。用水路に蓋をして歩道を広げることはできないかとの意見です。

能美市では、能美市通学路交通安全プログラムに基づき関係機関が連携し、定期的な合同点検を行い、通学路の安全確保を図っていることは承知しています。1件目の事案は、中学生の通学路です。現在、プログラムのメンバーには小中学校の関係者も参加されているようですが、小学生の通学路の点検、対策が大半で、中学生の通学路に関しては手薄の

ように感じます。

また、1、2件目ともに県道なので道路の管理は県になりますが、市から県へ強く働きかけると同時に合同点検の際には実際の状況を把握して対策をしていただきたいです。このプログラムをより充実したものにするために、点検箇所を選定には保護者目線の幅広く細やかな部分の問題点にも目を向けるシステムづくりをする。対策箇所一覧表には、点検日時、詳しい進捗状況などを記入するなどし、現在の状況を分かりやすくするなど、保護者を含め地域全体で取り組めるものになることを願います。

【市長】 ご提言を受けて、すぐ草刈りをしました。すぐやれることはすぐやります。ところが、ガードレールをつけるとか暗渠にするということになると、やはり多額の費用がかかってくるだとか、溝を暗渠にする場合には、雪が降ったときに雪をどこに持っていくのか等いろんな課題があつて、順番に解決しながら一つ一つ丁寧にやっていきたいとそんな思いをしています。

県道も市道もあつたりして、小杉や吉光だと思うんですけど、それ以外にもいろんな箇所があるものですから、交通量がどれくらいなのか、幅員がどれだけあるのかと規定がありまして、規定に基づきながら危ないところを順次やっていくということでご理解をいただければと思います。

能美市では年に1回、学校の先生や警察、県、能美市の土木担当者等、アドバイザーという人がいらっしゃって、そんな人たちが集まって小中学校から出てくる意見を精査して、現場を見に行き危ないと思う箇所を順番に今対策を取っていつているので、言っておきます。中学校手薄じゃないかというご意見がありましたと言っておきますので、無い様になりたいと思います。

これまでの取り組みを共有化すべきじゃないか、これは仰るとおり、今コドモンを使ってやろうとしていることです。やったことを皆さんにお知らせできるような仕組みをつくって、ご提案いただいた共有化も図っていききたいと思います。

【司会】 先ほどの吉光の草刈りのほかに、小杉のバス停の横も草が生えている。

【市長】 それも草刈りを行いました。

【司会】 ありがとうございます。バスを降りる小学生にも、絶対役立つと思います。

提言 2

【参加者】 小中学校の避難マニュアルについてです。寺井校下女性会では、毎年、環境防災部が中心になって防災研修会を開き、会員の皆さんと防災や避難の心構えなどを学ぶ場を持っています。

その中で、「昨年8月の水害のとき、小松市内の高校に行っていたお子さんから迎えに来てほしいと連絡があった。車で出かけたが、どの道も冠水していて危険だった。本来、安全な避難場所である学校へ危険を冒して行くということに違和感を感じた」というご意見がありました。

そこで、能美市の小中学校、保育園の災害時の避難についてお聞きしたいと思います。

今後、昨年8月のような線状降水帯による大雨、あるいは大地震による帰宅困難な状況における避難マニュアルはあるのでしょうか。例えば学校から帰さず、その場にとどまる避難の場合、誰か先生が残ってくださるのか、備蓄はあるのか。また、そのようなマニュアルがあるのならば、学校ホームページに載せるなど、保護者との情報共有をしてほしいと思います。

【市長】 まず、お子さんが独りぼっちになることはまずありません。必ず誰かいます。災害はいろいろなケースがあります。大雨、台風、地震、学校に不審者が入った場合などいろいろなケースがあって、それぞれにマニュアルが全部あり、それに基づいて先生は対応しているということです。マニュアルに基づいて年に三、四回避難訓練もやっています。

小中学校は基本的に指定避難所になりますので、長期に避難が必要な場合は、そこで過ごしていただくということになります。それぞれのところには毛布や簡易トイレなどの備蓄品があって、食料等は対策本部から必要な量を適宜お届けするということになります。

マニュアルを共有をするということですが、別に支障はないので共有はできるのですが、ご覧になりますか。結構な量があるんです。見ていただくことは全然構わないんです。

【参加者】 県立高校になると、市での対応は違いますか。

【市長】 県立高校の場合は、寺井高校にマニュアルを持っていらっしゃることは分かっていますが、それはまた県の対応となりますので、我々とするそれをサポートするという立場になるのかと思います。

昨年大雨のときの避難所の在り方というのをすごく我々も教訓として持っています。冒頭申し上げたように、避難所の周りに水がついたということもある。それは大雨のケー

スであり、大雨も降り方によって全く違うことになるものですから、どうしてもその場その場で状況を見ながら対応していく必要があるんじゃないかと思います。

ただ、やはり我々行政だけではできないというか、足りない部分があるので、それは市民の皆さんにもご協力をいただいて、ご理解もいただければという思いをしています。

そんな中で、避難という場合には個別避難計画、これをしっかりつくっていったいくことが一番大切なんじゃないかという思いをしていて、皆さんに協力をさせていただきながら計画をつくって、全ての市民が安全・安心に避難をしていただけるよう努めていきたいと、そんな思いです。

【参加者】 ありがとうございます。

【市長】 避難のマニュアルの件なんですけど、小中学校とか保育園のマニュアルを皆さんにも見ていただきたいという思いもあるんですけど、ぜひ防災ガイドブックが一家に1冊あると思うんです。一回熟読してもらおうと、こんな災害の場合にどんなことをしなくちゃならないか、どんなことを備えていかなきゃならないかが分かるので、見ていただければと思うんです。

もう一つは、防災ガイドブックを今見直しをしているんです。去年の大雨を受けて、何回も申し上げているように、避難所の在り方だとか、こんなケースはどうすればいいんだというようなことがあったので、ご覧いただいて、こんなところが足りないんじゃないか、こんなことをこうすればいいんじゃないかというのがあれば、ぜひおっしゃっていただければと思います。

去年は土のうをもっと欲しいという話があったんです。普段からどこかに土のうを置いておくわけにもいきません、土のうをどうやってつくるか、夕方になったら下水道も流れなくなって、皆さんに水の使用の制限をお願いをしたり、そんなことも去年体験をしました。床上・床下浸水約180件だったんですけど、掃除の器具がない、消毒の器具がないということもあったりして、本当に去年の大雨を受けたり、皆さんもいろいろ興味を持って見ていただいたり、勉強されていると思うので、1回見ていただければと思います。もしご自宅になれば、市に言っていただければすぐにお届けします。

5. 意見交換

質問1

【参加者】 秋常町はすごい高齢者が多くて、子どもも本当に少ないところなんです。雪

が降るとすごい大変で、お年寄りも多いので、隣の新保町はきれいに除雪、融雪装置ついているので、本当に境目が分かるぐらいです。境目をなくしてもらえるとすごい助かります。

【市長】 基本できたら地域の皆さんで協力し合って除雪してもらいたいと思います。どうしてもできない場合には業者頼んでいただくと、費用の一部を市から助成する制度もあったり、市で除雪機を用意してあって、それをお借りいただいて使っていただけることもあるので、できたら基本みんなで頑張ってもらえればと思います。

【参加者】 頑張ります。ありがとうございます。

【市長】 小型の除雪機も市に今15台あって、使ってもらえるようになっています。その理由の一つが歩道の除雪なんです。車道はでかい除雪機でやるんですけど、その雪が歩道に行く。そうすると、子どもが学校に行けないという声があって、我々市の職員がやるといってもなかなか限界もあるので、皆さんに協力してもらうのに何かお助けできることないかということから除雪機をたくさん市のほうで準備して置いてありますので、また利用してもらえればと思います。

質問2

【参加者】 私、金沢のほうで働いているんですけども、終電で能美根上駅に帰ってくるとタクシーがつかまらない。駅も真っ暗で、どうやって帰ればいいか。お迎えがなかったら歩くしかない状況になるので、ちょっと不便で。10時台の電車に乗って帰ってきてもタクシーつかまりません。タクシーがいなくて、駅にタクシーの番号も書いてない。

【市長】 タクシー自体が今いないんですね、この辺り。要は頻繁に使ってもらえるとタクシーがいるんだけど、今タクシーって運転手不足で本当に少ないんです。本当に課題なので、ちょっと今どうできるかは言えませんが、私もその悩み分かりますから、何か考えたいと思います。

質問3

【参加者】 子どもが3人いらっしゃるお母さんから言われたんですけども、インフルエンザの予防接種の助成額を、現状は2,000円なんですけれども、小松市のように3,500円に増額してほしいという意見が出ました。

【市長】 検討します。いろんな接種をされていて、ほかの接種と総合的に能美市の場合は

お得感を出すというか、手厚くしているんです。ちょっとインフルエンザはインフルエンザで一度見ておきます。

【参加者】 お願いします。

【市長】 よく言われるのが、体育施設の利用です。冷暖房を3つの体育館につけたら、冷暖房費ただにならないかと言われるんですけど、能美市の場合は体育館とかの施設の利用料はゼロなんです。ほかの市町は大体皆さん料金取っているんです。総合的にいろんなことを判断しながら取組はしているんです。

質問4

【参加者】 体育館の施設開放デーみたいなものを設けてほしいです。大会などがあるメインの体育館ではなくて、土日の夜とかしか使われていないような体育館があれば、土日の昼間、月に1回でもいいので中高生に開放してもらえないかと思います。中高生だけでは体育館を借りられないけれど、球技大会の練習はしたいという子どもの意見がありましたので、そのような開放できる日があるとありがたいです。

【市長】 開放デー、例えば何に使ってもいいということですか。

【参加者】 そうですね。自由に使えるような。子どもだけで球技大会の練習をさせてもらったりとか。

【市長】 開放デーにすると、例えば園児だとか低学年とかも来て、そこでバレーボールの練習を中学生がしようと思っても、難しいと思うんですね。自由に使える時間をつくってほしいということなんかな。

学校の体育館みたいな状況を町の体育館でできないかというご提案ですよ。結構体育館使われてるんです。土日、例えば秋常の体育館は大体使ってます。逆に学校の体育館のほうがあんまり使っていないかもしれないし、例えば部活の練習に使いたいということであれば学校の体育館使わせてくれと言ったほうがいいかもしれないとも思うんですけど、どうでしょうか。

【司会】 例えば球技大会のための練習したりとか、運動会の前にダンスの練習をする場所が欲しいとか、そういう子どもが集まる場所として使いたいということなんです。毎週毎週でもないし、部活でもないし、予約優先であっても子どもの中学生グループが使いやすいような時間が欲しいということですね。

【市長】 例えば秋常の体育館で使っていない日があればどうぞ自由に使ってください

というような日を設ければいいということかな。それはちょっと1回検討してみます。使っていないのであればね。それをコードモンか何かで保護者の皆さんにお知らせをして使えるようにするとか、そんな形ですかね。

【参加者】 そうですね。

【市長】 ただ、空いているからすぐに使えるというものじゃないんです。管理や鍵を開ける人がいる。だから、事前に空いてる日があれば押さえておいて、この日は開放デーにしますとって使ってもらったほうがいいのかもしれないね。明日空くから使ってもらいましょうということではなくて。ちょっと見ていかんなんけれども、この日空きそうやからというようなことにするかですね。何か考えます。

【参加者】 ありがとうございます。

質問5

【参加者】 町内の運動会とかお祭りとか今年は復活して、改めてコロナ禍で地域のコミュニティが希薄になっているな、横のつながりがなかなか難しいなと感じました。そんな中で移住してきた方、お引っ越ししてきた方、若い方の力をもうちょっと生かしたらいいなと思っているんです。移住・定住促進をしているので、せっかく地域に入ってきてもらってもその人たちの力を生かしたりとか、つながりをつくる基のコミュニティが希薄になっているのがこの先心配だなと思っています。

新しい住民の方の思いや力を地域に上手く繋げて生かしていくのに、移住・定住された方が、その後地域にスムーズに入っていく、地域を育むサポートというのは市としては何かあるのでしょうか。入ってきたあとは地域の人にお任せみたいな感じなのでしょうか。その辺がちょっと見えていないので、何かサポートがあるのか聞きたいです。

【市長】 何か迷ったとき、困ったときに相談できる場所というのが能美市にはあるので、そんなところに来ていただければというのはあったり、能美市には移住アンバサダーさんという人がいて、コロナ禍だったので活動をセーブしていたんですけど、移住アンバサダーさんに取組をサポートしてもらうことに努めていきたいと思っています。

移住された人でも移住間もない場合、半年1年経過したときに、やっぱりそれぞれ悩みも違うんじゃないかと思うんです。移住されてすぐの場合には、能美暮らしの家という場所があっというろんな相談に乗れるようにもしています。

例えば悩みといってもいろんな悩みがあると思うんです。移住者だけではなくて、小さ

いお子さんを持ったご家族の場合に、夜中に体調が悪くなった場合どうするんだというのがあって、今チャットで子どもの症状を送ると返信してもらえるそんな仕組みをしていたり、冒頭申し上げた多重の悩みを抱えていらっしゃる場合に相談できる窓口も整備をされているので、今おっしゃったことを思うと、そんなところがあることをもっと皆さんにきちっとお伝えする必要があるのかという気がしました。住民票を移されているときに能美市ではこんなものがありますということをセットにして伝えてはいるんですけど、もう少し伝えられる仕組みを考えていけないなと今思いました。

質問6

【参加者】 健康ロードの整備が完成したら楽しいイベントを期待しています。

のみバスの利用がなかなか増えないかなというのがあって、私たち世代も車を持ってしまうとなかなか使うことがないと思うんですけど、例えばほかの市の小学生の遠足でのみバスを使って動物園まで行きませんかとか、小さな頃に体験したことって結構リピートになるかなと思うのと、小さい時期にバスに乗って移動できる体験をすると将来が明るくなっていくのかと思います。子どもがいたときはバスに乗ってどこか行こうというだけで楽しかったので、2時間100円というのは大きな売りになるかと思うので、ほかの市からの誘致とか、能美市のどこかの保育園の遠足があえてのみバスと動物園のセットとかで体験していくのも、親子でバス出すよりもいいかなと思いました。

【市長】 健康ロードの件は、昔そこに駅があったことが今は分からなくなっているところがたくさんあるんです。それを整備して行って、駅の近くにどんな施設があるか、そこからさらに健康ロードをどう使えばいいのかが分かるようにQRコードを使って説明するようにしようとしているし、健康ロードを使ってもらえるような仕掛けは、こんなことしたらいいかなとか、写真コンテストやったらいいかなとか、今一生懸命考えています。

【参加者】 駅伝とかも面白いと思います。各町内からの有志出してされるとか。

【市長】 そんなイベントも何かしないといけないと思っているので、ぜひ婦人会で仕切ってもらってやってもらえたらいいなど。根上地区は能美根上駅から出発して、寺井地区は本寺井駅。辰口は能美電があるところみんなでつなぐとか、そんなのもありかなと思います。

のみバスは、茶碗まつりとか七夕まつり、辰口まつり、この間の古墳まつりのとき無料にしているんですよ。その時は結構乗っているんです。中学生がみんな乗っていて、言わ

れたのが、花火が見れないと。花火が終わる時間までいるとバスに乗って帰れないというご意見をいただいています。そんなイベントがあるときは終バスを遅らせてもいいかなとか。

能美市内の児童館、ほかの市町の子どもたちが結構利用する。いしかわ動物園に遠足行くことになってはいたけど、雨が降ったらいしかわ動物園に行けないから、能美市の児童館を結構使ってくれてるんです。そんな子にのみバス乗せてあげるのもいいかもしれないですね。ただ、のみバスって座る場所が少ないんです。満員で33人で、椅子が12だったかな。そんなに座れない、そこがちょっと保育園の園児全員乗せることが無理かなと思う。でも、何か思い出づくりはやろうとしていて、ある策を考えています。

【参加者】 いろいろと期待しております。

質問7

【参加者】 のみバスつながりで、娘たちがよく乗るんです。以前は寺井高校に通う子らは割引になる制度があったと思うんですけど、今もあるんですか。

【市長】 あります。

【参加者】 反対に、能美市の高校生が能美根上駅に行くための割引というのは？

【市長】 高校生はみんな割引になっています。高校生用のパスがあるので、安くなっているはずですよ。寺井高校だけじゃなくて、能美市の高校生もほかのところに行くのに割引になっています。

質問8

【参加者】 結婚とか出産するとひぼ能んゆず美んのマグネットステッカーがもらえるじゃないですか。あれがすごくいいな、欲しいなって思っているんですけど、もっと一般的にみんなが貼れるような一般市民向けの、お金は取ってもいいと思うんですけども、一般市民向けみたいな、アイラブ能美みたいな感じのステッカーがあったら、貼って例えば東京なり大阪なり旅行行ったときにも能美市のPRになっていいんじゃないかと思っていますんですけど、どうでしょうか。

【市長】 幾らぐらいなら買ってくれるかな。1,000円なら買います？ご提案いただくことは何でもやりたいなと思うんです。能美市の宣伝をしてほしいと思っているので。

【参加者】 値段は市で決めていただければいいと思うんです。

【市長】 1,000円にして買われなかったら、意味がないからなあ。

【参加者】 800円ぐらいがいいかなと思う。車に貼るのが絶対よくて、今「のみのみと」ってあるじゃないですか、あれもすごくいいなと思っていて。松井さんの「のみのみと」とかそういう幾つかバージョンがあったらいいと思う。

【市長】 本当に皆さんつけてくれるなら2、3種類作って800円で売りたいと思う。市のシティプロモーションということで、本当に皆さんに強く広く広めてほしいんです。のみバスも「すごくかわいい」とみんなから言われているんです。「ほかの市町のバスよりもかわいい」とかって。のみバスも今8台走っているんだけど、全部デザインが違うんですよ。市内の8小学校の子どもたちに自分の小学校のエリアで自慢できるものを描いてもらったやつを散りばめてある。

質問9

【参加者】 今能美市の能美って「のみ」って読んでもらえないと思うんです。甲子園とかにある能美（のうみ）防災という同じ字を書く防災の会社と勘違いされることが多いんで、それとの差別化ですよ。逆に能美防災さんと、コラボするとかできないですかね。

【市長】 一度ちょっと探ったんですけど、なかなか難しい。

【参加者】 そうなんですね。

【市長】 悔しいのは、能登は「のうと」と読まないんですよ、みんな「のと」って言うんだよね。何で能美だけは「のうみ」って言うのか。おっしゃるとおり能美防災がビッグネームなんで読んでもらえないと思う。

だから、松井さんに「のみのみ」って言ってもらって。やっぱり能美というのをいかに広げていくかというのはすごく大切だなと思います。

【参加者】 新しい小松駅にも松井さんのパネルは立つんですか。

【市長】 まだ予定してません。順次広げていきたいと思うんですけど。あんまりどこにでもあっても面白くないし、将来的には松井さんのパネルを巡ってもらえる仕掛けができないかなと。今、虚空蔵山と観音山とこくぞう里山公園と無患子トンネルの入り口にARのQRコードがあって、それをかざすと携帯電話の画面に松井さんが出てくるような、そんなのは今やっているんで、広げていながら、能美市のいろんなところを巡ってもらう仕掛けはしたいなと考えています。

質問10

【参加者】 寺井小学校前の通学路になっているコミュニティ道路の除雪というのは、お願いできないものですか。みんなが通る場所というのがあると思うんですけど、子どもたちもわざわざ道路のほうに出なくて済むし、安全にはいいんじゃないかと思います。

【市長】 先程の秋常の話もあるんですけど、誰がやるかなんですね。一斉に市内いろんなところで降るんです。優先順位をつけて除雪しているんです。例えば病院とか物資を輸送する道路だとかを最優先にされていて、5センチたまと除雪をする。それから、もう5年前になるけど大雪が降ったときに大変だったのが保育園。園児を受け入れるのに、まず保育園の先生が車を止めなくちゃならない。自分らで除雪して車止めれるようになったと思ったら、今度、保育園に保護者がみんな車で子どもを連れてくる。その車を入れる場所がないから、まずは保育園をきれいにしないと園児が預けられないということがあったり、優先順位があるので、やっぱりできたら皆さんに協力してもらえればなという思いです。

我々も例えば市役所も除雪しておかないと、いろんな用事で来られる方もいらっしゃる。雪が降ると市の職員は総出で市役所の駐車場なんかをきれいにしたりするんです。だから、なかなか手が回らない状況なんで。本当にできたら協力してもらえればなという思いです。

除雪の業者さんも夜中も寝ずに、みんな稼働していて、雪が降ると皆さんで協力していかないと生活が追いつかない、何か大きな事故や事件があったときに対応できないというのもあるので、協力できればお願いしたいと思います。

質問11

【参加者】 大長野の体育館ってどうなるんですか。直すんですか？

【市長】 もうしばらくあのままです。直す予定はないです。

【参加者】 体育館は足りているんですか。

【市長】 足りているか足りないかという、ちょっと足りなくなっているかなという気がします。ただ、数だけあればいいというものでもなくて、体育館の規模だとか、観客数だとかもあるので、市内で大きなアリーナぐらいのものを欲しいという要望もあったりするんです。

だから、例えば小学校が築50年以上が30%以上を占めると言いましたよね。いろんなことやっていかないいけない。全部財源が必要なんで、優先順位をつけてどうやっていくかということなんです。大長野の体育館も本当はいろんなことをやりたいんですけど、優先順位からすると今塩漬けになっているそんな状況です。

6. 寺井校下女性会長ご挨拶

7. 閉 会